

つながりだより Vol:6

2013年12月5日発行

発行責任者：米川勝利
茨木市桑田町17-21
TEL&FAX: 072-628-3986
メール: info@s-yonekawa.net



茨木市議会初の報告会！

88名の方にご参加いただきました。

11月13日19時より福祉文化会館にて、議会基本条例に基づく初めての議会報告会がありました。「議会って何してるの?」「どんなこと議論してるの?」そんな疑問に「議会のしくみ」「議会改革の取組み」「定例会」の報告が行われました。そして、参加者からの質疑応答の時間が1時間弱持たれました。

今後、どのような形で報告会を実施するかは議会改革推進委員会で検討中ですが、今回の市民のみなさまの反応、お声を踏まえて改善し、次回につなげてまいります。



このようなチラシを配布し
市内の公共施設等では
ポスターで告知しました

トピック

JR 茨木駅東口の再整備開始！

9月議会の補正予算に上がり可決されたJR茨木駅東口の再整備が10月から始まりました。工事期間は立命館大学が開学する直前の2015年3月末までです。

ご利用にあたり、ご不便なこともあるかと思いますが、エスカレーター・エレベーターの新設、バス停留所、一般車乗降所設置など、駅前広場がより使いやすくなります。

茨木市公式Twitter(ツイッター)とおおさか防災ネットが連動開始！

災害時により早く、確実に災害関連情報を伝えるため、市の公式Twitterとおおさか防災ネットの連動が始まりました。

避難勧告・指示、地震情報、土砂災害警戒情報などの災害関連情報が配信されます。もちろん、各方面から意見もあり、担当課で進めてきたことですが、私も6月の一般質問で防災対策とSNSのことを取り上げましたので、こうした「いざというとき」のための情報収集の手段が増えたことは喜ばしいことです。



よねかわ しょり 米川 勝利プロフィール

- ◇1986(昭和61)年生まれ
- ◇大池小学校、東中学校、茨木高校、同志社大学政策学部卒業
- ◇同志社大学大学院 総合政策科学研究科 博士前期課程修了
- 現在、博士後期課程在籍
- ◇茨木BBS会 副会長
- ◇所属委員会
 - ・総務常任委員会(副委員長)
 - ・議会広報委員会
 - ・北部丘陵開発対策特別委員会

詳しいプロフィールは
ホームページへ
<http://s-yonekawa.net/>
ブログも更新中！



茨木BBS会 市民活動応援フェスタにブース出展

前回のつながりだよりに掲載した私の所属する、茨木BBS会(青少年の立ち直りのサポートをするボランティア団体)の輪が広がってきてています。

追手門学院大の学生さん2人、社会人の女性2人が新たに加わってくださいました。

そんなメンバーで10月27日に市民会館で行われた市民活動応援フェスタにBBSのアピールのためブースを出展いたしました。



米川勝利 議会活動報告 2013年9月議会

9月議会のご報告（6日開会、18日閉会）

毎年、9月議会では、昨年度の予算の決算が行われます。私は本会議では、「歴史文化姉妹都市提携」の議案、そして一般質問で総合計画、人材育成について質疑を行いました。総務常任委員会では一般質問よりさらに細かい点と、特別警報について質疑しました。今回は歴史文化姉妹都市提携の調印式もあったため、そこに絞って取り上げます。その他は市役所の情報ルームや議会ホームページ等で議事録を参照いただければ幸いです。

「歴史文化姉妹都市」提携 →全国初ゆえに特化して推進すべしとの質疑

昨年2012年9月末の大分県竹田市での400年祭において、「歴史文化交流パートナーシップ宣言」がされました。茨木市は竹田市と全国初となる歴史文化姉妹都市を提携することになりました。竹田市の昨年の11月の広報紙によると、「歴史文化のまちづくりを展開している自治体同士で、これを契機に相互交流を深めながら、歴史と文化を基軸とした地域交流を進展させる」と述べられています。これを茨木市としてはどう認識しているのか、姉妹都市との位置付けの違いをどう考えているのかを質疑しました。

行政からの答弁

～姉妹都市の目的+歴史・文化資産の最大限の活用～

→歴史文化姉妹都市は、中川氏関連※はもとより、隠れキリシタンや川端康成は、国内外でも有数の貴重な資源と認識しており、それら誇るべき歴史や文化資産を最大限に生かした交流をすることで、互いに自分が住むまちの良さを再認識し、郷土愛がさらに深まる関係を構築し、市の歴史を次世代に継承していくようにしていきたい。

※1597年、茨木城主の中川清秀の次男の中川秀成が岡城に入城。茨木と竹田のつながりはここからスタート。

米川の要望

次年度の予算編成はこれからなので、行政としては具体的答弁はできない状況です。しかしながら、毎年姉妹都市事業に予算を割く以上、費用対効果を考慮したうえで、他市に先行して「全国初」を名乗れるチャンスを有効活用すべきだと米川は考えます。

11月16日、歴史文化姉妹都市提携の調印式

11月16日(土)10時より、福祉文化会館文化ホールにて、茨木市・竹田市歴史文化姉妹都市提携の調印式が行われました。竹田市長、正副議長、ライオンズクラブ会長ほか竹田市から多数駆けつけてくださいました。茨木と姉妹都市の小豆島町長も出席していました。

竹田市長からは過去の出来事、縁から、事実として終わらせるのではなく、今を生きる私たちにどう生かしていくか、未来へ広げていくかというお話がありました。私も大いに賛同する考えです。



Q. 決算って？

A. 納められた税金等が、どのように使われたのかをまとめたもの。

行政の実績報告書のようなものであり、予算編成の資料として重要。議会は市長から出された決算書をもとに、予算が効率的に執行され、十分な効果を得られたかどうか等を審議します。

なお、茨木市議会では決算特別委員会を設置して、審議します。

